

## 「緊急事態宣言」が解除！

### 子ども達の歓声に包まれる

誰もが心より願っていた「緊急事態宣言」が9月末解除されました。しかし、10月1日～14日までは、「重点取組期間」になっているので、段階的に状況を見ながら日常の保育に変えていきます。続いてご理解ご協力をよろしく願いいたします。

幼稚園は、10月1日より子ども達の数が増え、一気に活気を帯びてきました。たんぽぽ組とさくら組の子ども達の遊び時間の交流も戻ってきました。また、隣の緑丘小学校も分散登校から全員登校になり、子ども達の生き生きとした声が運動場に響き渡っています。子どもの声が響き、笑顔がはじける学校や幼稚園、その日常こそが幸せであるとしみじみ実感します。長く続くことを願うばかりです。



そんな中、10月6日(水)緑丘小学校1年1組の子ども達と緑丘幼稚園の子ども達が一緒に秋見つけで、どんぐり拾いに天神さんに行きました。小学校とは、本年度になって初めての交流です。コロナ禍の中、一緒に手をつないでいくことはできませんでしたが、グループに分かれてどんぐり拾いをした場面では、1年生が幼稚園児を気遣い、どんぐりを見つけて、そっと渡したり、声をかけたりするなど優しい姿があらこちらで見られました。この秋見つけをきっかけに、今後自然な形で子ども達同士が触れ合っていけたらいいなと、思っています。



今、小学校では、体育参観日に向けて練習をしています。保育のタイミングを見ながら小学校のお兄さんお姉さんを応援している子ども達です。これは、同じ敷地内にあるからこそできる本園の特権です。小学校をより身近に感じて欲しいと願っています。



## わ～いわい♡幼稚園に新しい命が誕生！

子ども達が可愛がり、大切に世話をしたおかげで、さくら組に、カブトムシに新しい命が誕生しています♡ さくら組を覗くと、カブトムシが夏休みの間に白い卵を産み、9月1日に見ると、なんとかわいい幼虫に変身していました。カブトムシの命がつながったのです!! たんぽぽ組のカタツムリも小さな小さな赤ちゃんカタツムリから次第に大きく育っています。びっくりです!!



もしうまくいけば、カブトムシは、これから長～い秋・冬を経て、5月にはいただいた幼虫のように大きく丸々としたぷよぷよの幼虫に育つはずですが、長～い道のり。命はつながっていくのでしょうか？ またさくら組には、夏休み前に住んでいた川にほとんどのザリガニは返し、「るいくん」と「るんくん」に命名したザリガニ2匹だけいます。毎日水替えをしたり石を洗ったりしながら大切に育てています。産卵をして、命がつながることを待ち望んでいます。

## 自分で考えて、自分の言葉で表現できる子に!!

子ども達は、日々自分で好きな遊びを見つけ、制作をしたり、バッタやチョウチョを追いかけたり、ボトルパニック(さくら組が考案した遊び)で走り回ったり・・・楽しそうに友達と遊んでいます。しかし、子ども達の様子を見て気になることがあります。



- ★自分の予想外の質問や出来事に戸惑い、涙が出てしまったり、何も言えなくなってしまったりする子が多い。
- ★自分の判断ではなく、友達の判断に流れて行動していることが多い。

これからの未来を切り開いていく子どもには、コロナ禍のように、先行き不透明な社会の中では、自分で考えて困難なことにもへこたれず、立ち向かっていく「たくましさ」や「しなやかさ」が必要となります。小学校でも分からないことや困ったこと、伝えたいこと等を表現できないと、学校生活がしんどくなります。



幼稚園でも、自分で考えてその子なりに表現できるよう、一人一人の子どもの実態を把握しながら、しっかり受け止め、認め、援助していきたいと思えます。是非ご家庭でもお子さんが、自分からお話したくなったり、自分の意志で判断して行動したりできるよう、ひと呼吸待ったり、認め励ましたりしてください。子どもを信じて待つことが、子どもの成長につながります。お子様のことで困ったことや気になることがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。